

---

# 魔法先生ネギま！～魔弾の射手～

美凧・悠

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

魔法先生ネギま！〜魔弾の射手〜

### 【Nコード】

N8229K

### 【作者名】

美凧・悠

### 【あらすじ】

ネギま！の世界に転生！？破壊神の気まぐれ（？）により殺されてネギま！の世界に送られた主人公・紫藤 勇輔。彼の異世界ライフが今始まる！！

この作品はアンチ等が入るかもしれませんが。そういったものが嫌いな方は見ないようお願いします。また、作者はこれが初めての執筆活動となりますので、読みにくいと思います。

一週間で経たないうちにタイトルを変えてしまいました。以前は「魔法先生ネギま！〜魔銃使い〜」のタイトルで投稿していました。

## お知らせ

お知らせ

今まで【魔法先生ネギま！〜魔弾の射手〜】本編に混ぜて投稿してきた「登場するかもしれないアーティファクト・魔道具をまとめたページ」ですが、今回【魔法先生ネギま！〜魔弾の射手〜 アーティファクト大全】として独立させ、一話につき一つの道具という形（予定）で新たに連載（？）をすることとしました。今まで投稿してきた分を含め順次投稿していきますので、お願いします。

## 追記

今まで投稿してきた物の中には設定を変更させたものもあります。

## プロローグ（前書き）

この作品はアンチ等が入るかもしれません。そういったものが嫌いな方は見ないようお願いします。また、作者はこれが始めての執筆活動となりますので、読みにくいと思います。

## プロローグ

今、俺こと紫藤しじょう 勇輔ゆうすけは何も無い真っ黒な空間にいる。きちんと自分の体や目の前の兄ちゃんを見れることからここが暗闇ではないといえる。

「自分とおっさんが真っ黒な空間に二人きり。奇怪な夢を見るものだ。夢は深層心理を映し出すというが、俺は何を抱え込んでるのかね。自分のことながらさっぱりわからん。」

『おい。おっさんてのは俺様のことか？ テメエ発言の前に兄ちゃんって考えてるんだからそのまま言えよ。それとここは夢の中じゃねえぞ。』

「考えを読む？ そんなことが出来ることが夢の中だっていう何よりの証明じゃないか。」

『あゝ、まずここがどこだか説明するか。ちなみに一回しか言わねえからそれで理解しやがれ。いいな？ 質問も受け付けんからそのつもりでいろよ。』

無茶苦茶だ。よっぱどの頭が無い限り一回きりの説明で理解できる奴なんていないだろう。もっとも理解できた気になる奴はいるだろうが。

『ここはこの世とあの世の狭間、死んだ靈魂が輪廻の輪に乗る前に通り過ぎる場所だな。まあ、今は隔離してるから他の靈魂は見えないし、お前の姿も俺様以外には見えてないがな。つまりこの場所にいるってことはテメエは死んだってことだな。ちなみに死因は俺様が

ここまでテメエの魂を引つ張ってきたためだな。』

つまり俺はこのおっさんに殺されたわけか。……話を信じるならという条件でだが

『テメエを引つ張ってきた理由は簡単。俺が最近読んでるネギまの世界に異分子を放り込んだらどんな風に物語が壊れるのか気になったから。で、一番最初に見つけた原作知識を持った奴がテメエだったわけだ。』

そんなことのために俺は死んだのか。一体、何十万・何百万分の一の確立だよ。

『さて、説明はここまでだ。次はテメエに付加する力の話だな。そのまま放り込んででも面白く無えからな。10個までなら破壊神印の付加をしてやる。その代わり絶対原作に絡めよ？絡まないと判断した時点でお前の存在がなくなるからな。輪廻の輪に乗ることもあり得無え。』

「破壊神のおっさんが力を渡すことなんて出来るのか？そういうのが出来るのって創造神じゃないのか？」

『仮にも神の名を冠してんだ、嘘は言わ無えよ。一から作り出すことは出来なくても在る物に付け足すくらいなら出来るんだよ。』

「なら一つ目だ。魔力・気を限界まで上げてくれ。勿論無限に出来るんだつたら無限に。」

『無限には出来無えな。そうだな、魔力を近衛 木乃香の50倍、気も同じくらいだな。』

「そんなもんか。次2つ目、魔法を得手・不得手無く使えるようにしてくれ。」

「3つ目、魔法や気の知識をくれ。これが無きゃただのタンクだからな。」

「4つ目、魔法をあらかじめ銃弾の形に固定しておくことで撃つ時に呪文を詠唱を必要とせず即時発動できるつつうスキルだ。」

『また珍しいものを頼むんだな。サービスで維持に掛かる魔力をゼロにしてやるよ。』

「普通は維持に魔力が必要なのか、ありがたいな。5つ目、物造りに必要な知識とスキルだ。料理や裁縫みたいな日常で使うものから、武器・防具・魔法薬・魔法道具の作成まであらゆるものだ。」

『いいんだが、後半は分かるが、前半は必要なのか？』

「不味い飯は食いたく無えからな。6つ目、物をしまつために複数の空間倉庫を作り出せる能力だ。」

『いいだろう。そうだな、開ける時に扉を想像すれば開けられるようにするか。何か違いをつけとけよ。それで空間を区別できるようにしとくからな。』

「わかった。7つ目、アンサートーカー答えを出す者・グラムサイト妖精眼・神速のインパルス・瞬間記憶能力・マルチタスク並列思考のスキルだ。」

「8つ目、肉体がピークを迎えたときに吸血鬼の真祖化の呪いを受

ける」

『真祖じゃないといけねえのか？』

「普通の吸血鬼より強力みたいだからな。どうせなら強いほうがいい。9つ目、大戦に参加できるように転生させてくれ。理想は大戦が終わったしばらく後に吸血鬼化の呪いだな。」

「最後だ。あんたと仮契約パフティオーさせる」

『最後の最後で驚かせやがって、まさか神との仮契約を望むなんてな。いいだろう。全部叶えてやるうじゃねえか。カードはテメエが開く一番最初の空間倉庫にいれといてやる。必要になったらそこから出いな。』

『それじゃあ覚悟が決まったら、その扉をくぐりな。テメエの活躍を期待してるぜ。』

## プロローグ（後書き）

感想・評価お待ちしております。このように書いてたらもっと読みやすくなる等ありましたら、教えてください。よろしくお願いします。

主人公設定（一部ネタバレあり？）（前書き）

遅くなりました。一体何ヶ月ぶりの投稿でしょうか？そしてこれが本編で無いことをお許しく下さい。

## 主人公設定（一部ネタバレあり？）

・主人公設定（大戦以降）

名前（前世）：紫藤 勇輔

（今世）：レーナス・ガーランド

容姿　　：身長175cm、体重75kgで、蒼髪、碧眼で肩口まで伸ばした髪の毛を後ろで縛っている（イメージは勝手に祖父の名を賭ける某名探偵の孫）。程よく筋肉が付いていて、顔つきは女顔や中世的な顔立ちではない（作者の語彙不足のため適切な言葉を見つけたときに更新します）。

能力（特典）：1、魔力・気が保持できる限界量ギリギリ。

2、魔法の得手・不得手が無い。

3、魔法・気に限定されたアカシックレコード。

4、魔法を銃弾型に圧縮することの出来る固有技能。

5、物の作成に限定されたアカシックレコードと技能。

（料理や裁縫から武器、防具、魔法具の作成まで）

6、空間に倉庫を作り出すことが出来る（時間の流れが無い。また生きているものをしまうことは不可、死んでいれば可）。

7、アンサートーカー 答えを出す者、グラムサイト 妖精眼、神速のインパルス、瞬間記憶能力、マルチタスク 並列思考の技能。

8、肉体がピークを迎えたときに吸血鬼（真祖）へ。時期は大戦終了後。

9、大戦に参加できる環境に転生。

10、神と仮契約（主 神、従 主人公）

二つ名 : 魔弾の射手、完全治癒、乱射魔、赤き翼の汚点トリガーハッピー(ある事情で自然と立ち消え。理由は本編でいずれ)

大戦以降、つまり成人してからの主人公です。もともと容姿以外は転生直後からそう変わりませんが。精々が経験によって特典をより上手く使いこなせるようになってることでしょう。

吸血鬼化に関しての弱点は大戦後、原作までに克服した設定にしています。エヴァンジェリンが克服までに十数年。克服するのに多少の個人差があっても魔法球を使わないでも十分に克服できるだけの時間があると思います。

原作介入に関しては保険医にでもして麻帆良に赴任させようかというのが今のところの最有力です(決定ではありません。要望の有無に関わらず変更の可能性は大いにあります)。

## 主人公設定（一部ネタバレあり？）（後書き）

本編の進行具合で更新していきます。  
誤字や感想、アドバイスがありましたらお願いします。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8229k/>

---

魔法先生ネギま！～魔弾の射手～

2010年10月8日12時16分発行